

# 2025年度JICA北海道(札幌) 異文化交流プログラム募集要項

## 1. 目的

- 1) 近年、各校で取り組みが盛んになってきている国際理解教育への支援事業の一環として、地域の児童・生徒と、JICA研修員や道内在住外国人との交流の場を提供しています。交流を通して、外国や異文化に関する児童・生徒の興味・関心を引き出し、国際理解から国際協力への基礎を築くことを目的としています。  
※語学習得（特に英語）をねらいとするものではありません。
- 2) 児童・生徒との交流を通して、JICA研修員や道内在住外国人が日本文化・日本人とのコミュニケーションを実体験し、日本についての理解を深める機会となることも目指しています。

## 2. 内容

JICA研修員または道内に在住する外国人が学校を訪問し、児童・生徒と交流します。当日は、本事業委託先の職員と必要に応じて通訳者（**基本的に1名**）が同行する予定です。

- 1) プログラム作成にあたっては、児童・生徒による事前学習の発表の場となるだけでなく、訪問する外国人も参加や体験ができる内容となるようご注意ください。インタビューやお互いの国紹介のみではなく、児童・生徒のみなさんと外国人が文化や遊びを通して直接交流できるようなプログラムをご検討ください。
- 2) 事前に訪問する外国人の出身国や異文化理解に関する学習をしていただき、交流プログラムが効果的に実施されるように企画してください。交流の経験が児童・生徒の異文化理解や外国への興味喚起、また国際協力へのきっかけとなるよう、事前・事後学習の流れの中で本プログラムを位置付けていただくようお願いいたします。
- 3) 事前・事後学習の取り組みとして、「JICA国際協力出前講座」「ほっかいどう地球ひろば訪問」を併せてご利用いただくことを推奨いたします。海外協力隊経験者の体験談や開発教育ワークショップを取り入れた学習により効果的な取り組みが可能となります。「JICA国際協力出前講座」「ほっかいどう地球ひろば訪問」の詳細につきましては、JICA北海道(札幌)ホームページをご参照ください。
- 4) 児童・生徒が2つ以上複数のグループに分かれて交流する場合など、追加の通訳者が必要な場合は学校側で手配していただきます。通訳者の手配が難しい場合は、通訳が1名で成り立つ内容の企画をお願いします。（通訳者の手配に際しては、依頼先のご紹介などご相談に応じます。）  
また、JICAから同行する通訳者が児童・生徒の挨拶や発表等の通訳を行う必要がある場合、発表原稿は実施1週間前までに担当者へお送りください。
- 5) 訪問時間は午前10時以降午後4時までの間で最長2時間となります。  
JICA研修員が訪問する場合、午前・午後に研修が行われる場合も多いため、日時の調整をお願いすることがあります。応募用紙に午前・午後の記載がある場合は、午前10：00～12：00頃、午後13：30～16：00頃の中で2時間の訪問をご想定ください（到着から学校出発までの時間となります）。  
※日程によっては午前と午後をまたぐ給食交流が可能な場合もございます。給食交流を希望される際は、応募用紙にその旨をご記入ください。
- 6) 訪問する研修員や外国人の出身国・人数・言語を選ぶことはできません。あらかじめご理解ください。

## 3. 訪問先範囲

JICA北海道(札幌)から車で**片道1時間半以内**で移動が可能な地域。石狩振興局管内全地域、空知総合振興局管内の一部（岩見沢市、美唄市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、月形町、滝川市、夕張市など）、後志総合振興局管内の一部（小樽市、余市町、赤井川村など）及び胆振総合振興局管内の一部（苫小牧市、白老町、登別市、厚真町、安平町など）にある小・中・高校・特別支援学校を対象とします。

※対象地域かの判断が難しい場合はお問い合わせください。

## 4. 経費

- 1) 謝金は一切発生しません。研修員などの外国人及び同行者の移動にかかる経費は、原則全てJICAが負担します。（給食交流が発生する場合は、給食費もJICAが負担します。）
- 2) 交流に必要な消耗品等については、学校側でご用意ください。
- 3) 学校側で通訳ボランティアを手配した場合の経費（交通費、有償の場合の人件費等）については、学校側でのご負担をお願いします。

## 5. JICA研修員・道内在住外国人について

JICA研修員とは、開発途上国の技術者・行政官などを対象にJICA北海道(札幌)で行っている研修の参加者です。研修は短期間（概ね1か月前後）の日本滞在となるため、日本語を話すことは難しいです。研修で使用する言語は、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語などです。

在住外国人が訪問する場合は、道内で留学や就労している外国籍の方となります。日本語を話せる方が多いため、日本語でのコミュニケーションが可能な場合、通訳の同行はいたしません。

## 6. 学校訪問日までの流れ

手続き・問い合わせについては、本事業委託先である公益社団法人 青年海外協力協会が担当します。

1	申込	「2025年度JICA北海道（札幌）異文化交流プログラム応募用紙」に必要事項を入力し、下記申込先までメールにてご応募ください。【2025年3月7日（金）締切】
2	選考	選考結果につきましては、3月下旬(21日を予定)までに各応募校へメールにて通知します。選考を通過した学校については、通知の際に実施予定時期をお知らせします。
3	説明会の実施	選考を通過した学校のご担当者様はオンライン説明会【4月中旬予定】にご参加ください。事業実施のスケジュール、企画の際の注意事項などをお伝えします。
4	日程の調整	(順次) 具体的な訪問日程の調整をします。学校から希望日時を複数候補提出していただきます。 ※JICA研修員の訪問日については、訪問日時の確定が約2カ月前となる場合があります。
5	企画書の提出	(1ヶ月半前までに) 学校担当者より「企画書」をメールでご提出ください。
6	事前打合せ	(1ヶ月前) 電話・メール等でプログラム内容の検討・調整及び当日準備に向けた確認等を行います。
7	事前顔合わせ	(場合によって) 交流内容の詳細説明が必要な場合は、訪問1週間前を目安としてJICA北海道（札幌）センターまたはオンラインにて、事前にご説明いただく場合があります。 ※2024年度実施数は1校
8	通訳原稿送付	(場合によって) JICAから同行する通訳者（1名）が児童・生徒の発表を通訳する必要がある場合などは、訪問1週間前までに発表原稿をお送りください。また、通訳量があまりに多いと、通訳者の負担となる場合がありますので、通訳量へのご配慮をいただけますようお願いいたします。
9	JICA北海道（札幌）異文化交流プログラム 訪問日	
10	報告書の提出	(実施後、約1ヶ月以内) 「報告書」及び「アンケート」をご提出ください。

## 7. 応募方法

【2025年度JICA北海道（札幌）異文化交流プログラム応募用紙】に必要事項を入力し、下記申込先までメールでお申込みください。Excelデータの中には応募用紙①、応募用紙②の2種類のシートがあります。入力漏れのないようご注意ください。

※応募書類を受領後、当協会より「受付完了メール」を送信します。3月10日（月）を過ぎても、メールが届かない場合、必ずお問い合わせください。

## 8. 選考方法

応募多数の場合、提出書類を次の観点から審査し、訪問校を決定いたします。

- 1 提出書類に不備がなく、締切日が守られていること。
- 2 JICA北海道（札幌）異文化交流プログラム活用の動機や目的が、事業のねらいと合致していること。
- 3 国際理解教育に学校全体で意欲的に取り組んでいく意思があること。
- 4 訪問を希望している研修コース等と学校の実施希望日程が合致すること。

## 9. 募集締切日：2025年3月7日(金)

## 10. 選考結果発出予定日：2025年3月21日(金)

お申込み・お問合せ先

公益社団法人 青年海外協力協会  
JICA北海道（札幌）異文化交流プログラム担当 宛  
〒003-0026 札幌市白石区本通16丁目南4-25  
JICA北海道（札幌）センター内  
TEL：011-866-1515 FAX：011-866-1516  
**E-mail：hokkaido@joca.or.jp**